

GWI UPDATE 2016 年 11 月 30 日号

### トルコ大学女性協会 (TAUW) による政府法案への反対運動

トルコ及び全世界の女性団体、NGO、市民社会は、法的同意年齢未満の少女との性交を合法化し、子供花嫁を娶る慣習を助長するだろう最近提出されたトルコ政府の法案にぼう然とさせられた。その法案は性交同意年齢を 15 才から 12 才に引き下げ、男性が子供への性的暴行で有罪とされても被害者と結婚したならば、自由放免になるというものだ。GWI 傘下のトルコ大学女性協会 (TAUW) は、積極的に法案への反対運動を続け、法案の完全な撤回を求めている。「女性や子供たちの『強姦』を合法化する法案を受け入れられない」とした共同声明に連署した 172 の NGO 団体の中に GWI と TAUW も含まれている。市民社会が団結し、迅速で強力な行動をとったため、トルコ政府は法案の撤回に追い込まれた。TAUW はすべての女性や少女達が確実に保護されるために、市民社会や他の NGO と協力して、女性の権利のための唱道活動を続ける。

GWI UPDATE 2016 年 11 月 16 日号

### GWIと共に女性教師養成に取り組むウガンダ大学女性協会(UAUW)

GWI の「地方の未来のための教師」プロジェクトは、ウガンダにおいて資格ある女性中等学校教師の数の増加に取り組んでいる。GWI は、農村地域出身の少女が資格ある教師となる教育を受け、児童教育のための大使として地域社会に戻るまでを保証することにより、児童教育の壁に立ち向かうことを決めた。ウガンダへの最近の訪問において GWI の情報及び支援担当役員 Amy Paunila は、UAUW の会員および GWI が援助する 5 名と会い、このプロジェクトの進展状況について討論した。UAUW の会員達はこの 5 名にメンターとして助言を与え、プロジェクトにおいて地域社会が担当する取り決め事項を実行している。プロジェクトと学生に関する情報は[こちら](#)から。

なお、GWI ニュースの 2016/5/4 号および 8/3 号の和文記事も参照してください

GWI UPDATE 2016 年 11 月 2 日号

### GWI 第 65 回女性差別撤廃委員会会議に参加

女性に対するあらゆる形態の差別撤廃に関する条約(CEDAW) は 1979 年に国連総会において採用された国際条約である。しばしば女性の人権宣言と呼ばれる CEDAW は、女性に対する差別と暴力を排除し、ジェンダー間の平等を進めるための国レベルでの活動課

題の輪郭を描く。CEDAW の第 65 回会議は、国際連合ジュネーブ事務局で 10 月 24 日に始まり、11 月 18 日まで続く。2016 年 10 月 25 日、カナダ政府が定期報告を委員会に提出した。GWI の執行理事 Stacy Dry Lara は、傘下のカナダ連盟に代わってその日の会議に出席した。カナダは、2008 年の委員会審議に先立つ定期審査後、女性や女兒がカナダにおいて経験する不平等への対処において長足の進歩を遂げた。カナダの取組みのひとつは、家族に保育費用を援助し、貧困撲滅を図る”カナダ児童手当”である。加えてカナダ政府は、ジェンダーに基づく暴力の排除に注力し、女性の地位担当大臣が、この目標を達成するための活動を強化する国家戦略の開発に取り組んでいる。女性への暴力を終わらせる「国家戦略」は 2017 年に公表される予定である。GWI はカナダにおける女性と女兒への暴力と差別の排除に努力するカナダ大学女性連盟を支援する。

GWI はまた 10 月 24 日の国連の日を顕彰した。この日は国連憲章が発効した記念日に当たり、国連の成功を祝すものである。